

**「Windows 11の大型アップデート(バージョン24H2、25H2)を適用したパソコンで
OMSや自計化システムを起動できなくなる現象」の対処方法
(環境復旧ツールで解消できなかった場合、当手順を実施してください)**

I 概要

当現象を解消するために、ご利用のパソコンの再設定をお願いします。

<作業の流れ>

1. 「.NET Framework 3.5」の無効化 [所要時間の目安： 5分]
2. パソコンの再起動
3. 「.NET Framework 3.5」の有効化 [所要時間の目安： 30分]
4. パソコンの再起動

II 詳細

1. 「.NET Framework 3.5」の無効化 [所要時間の目安： 5分]

(1) 「スタート」ボタンをクリック(下図①)し、最上段の「アプリ、設定、ドキュメントの検索」欄に「コントロールパネル」と入力して(下図②)、コントロールパネルを開きます(下図③)。



(2) コントロールパネルの「プログラム」をクリックします。



(3) 「プログラムと機能」をクリックします。

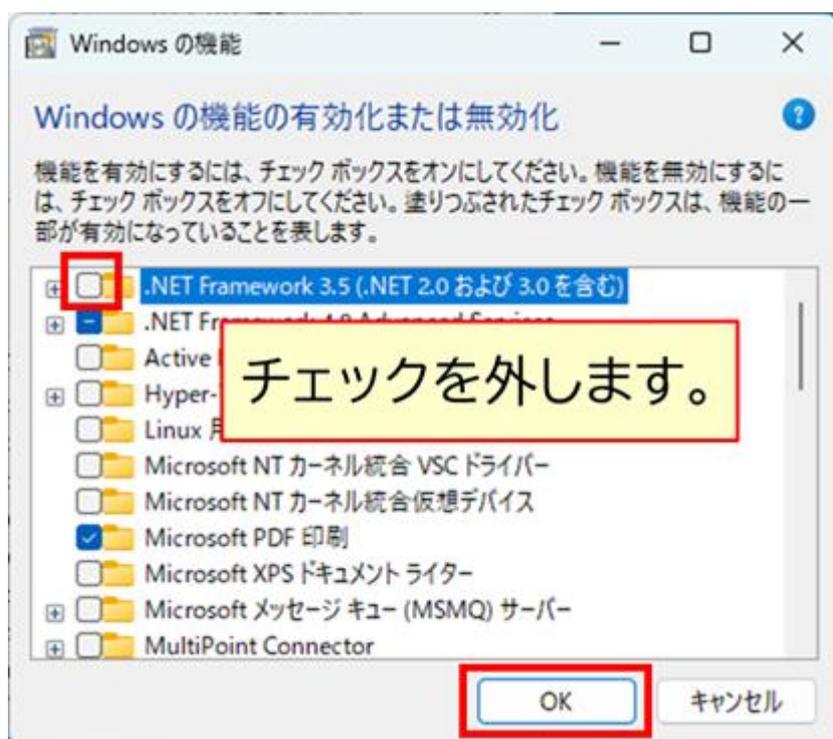


(4) 左側のメニューから「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックします。



※メッセージ「ユーザーアカウント制御 このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」が表示されたら「はい」を選択します。

- (5) 一覧から「.NET Framework 3.5(.NET 2.0および3.0を含む)」または「Microsoft .NET Framework 3.5.1」を探し、チェックが付いている場合は、一度チェックを外し [OK] ボタンをクリックします。



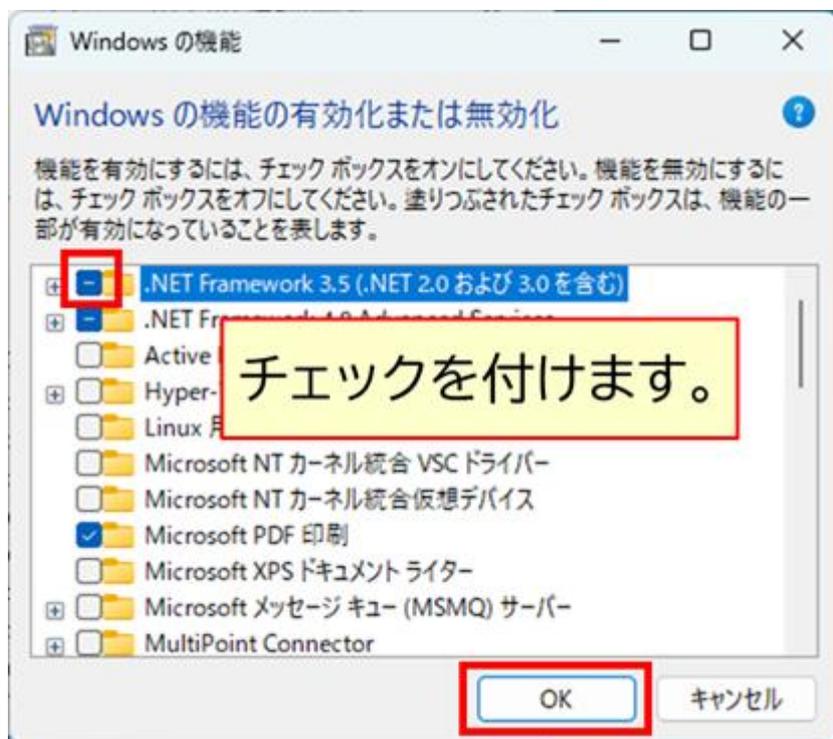
※チェックが付いていない場合は、下記 3. に進みます。

2. パソコンの再起動

変更を反映するため、パソコンを再起動します。

3. 「.NET Framework 3.5」の有効化 [所要時間の目安：30分]

- (1) 再度、上記1. (1)～(4)の手順で、コントロールパネルから「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックします。
- (2) 一覧から「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0および3.0を含む)」または「Microsoft .NET Framework 3.5.1」を探し、チェックをつけ [OK] ボタンをクリックします。



※必要に応じて、ファイルの追加ダウンロードが求められる場合があります。この場合は、ダウンロードを許可します。

4. パソコンの再起動

変更を反映するため、パソコンを再起動します。

上記1. ～4. の対応完了後、現象が解消されていることを確認します。

以上